

つながる庄原 笑顔の未来
活かそう 人を 歴史を 資源を

7/31
(水)

8/1
(木)

8/2
(金)

サマースクール 「夏休みの宿題をやっつけよう！」

「夏休みの宿題をやっつけよう！」をテーマに開催された3日間のサマースクール。今年も庄原小学校の児童たちが沢山参加してくれました。家にいると、時間はたっぷりあっても、テレビやゲーム、漫画…など様々な誘惑があって、なかなか宿題に集中しにくいものですね。

ところがここでは、「開始」の声かけとともに、黙々と宿題に励む子どもたち。周りのお友達が頑張っている姿が良い刺激となっているようです。

後に実施したアンケートでは、「宿題がはかどってよかった」、「もっと日数を増やしてほしい」、「わからないところを先生に聞いて良かった」、「中学生になっても参加したい」、「夏休みが終わる直前にも実施してほしい」など、好評の言葉を聞くことが出来ました。皆さん、来年もたくさん来てくださいね!!



「庄原夏まつり・花火の夕べ」

…台風10号接近のため
中止したことについて

庄原夏まつり実行委員会委員長 高橋義孝

全自治会の皆様や多くの企業様等からご協賛いただき、開催に向けて鋭意準備を進めておりましたが、祭り当日に大型の台風10号が最接近することから安全面を考慮し已む無く中止としました。「庄原夏まつり・花火の夕べ」は庄原の風物詩であり、多くの方が楽しみにしておられ中止は誠に残念でしたが、来年は例年以上ににぎやかな「夏まつり・花火」の夕べしたいと思いますので、よろしくお願いします。

8/31
(土)

第4回やくも教育講演会

いのちと仕事

～いのちをいただく～

はなし人 坂本義孝さん



斐川文化会館

私たちが生命を維持していくには、あらゆるものの「いのちをいただく」ことが必要です。

子どもたちにも解りやすいいのちの大切さを教えて頂きました。また、人生のいろいろな場面での出会い、一言にとっても勇気をもらった体験を話されました。「何気ない言葉で傷ついたり、生きる力を与えて頂いたりする。」。自分の発した言葉で相手を傷つけることはたくさんあったのではないかと反省します。

庄原地区では人権問和教育の研修を行っているところですので、この機会に少しでも地域が住みよい町になるよう研修を重ねていけたらと思います。

羽根盆おどり



親から子へ、子から孫へと受け継がれ、夏の思い出として記憶を彩る盆踊り。お盆に帰ってきたご先祖様の霊を慰めるための行事ですが、「羽根盆おどり」は、この地で行われてきた豊穡祈願の行事と結びついて生まれたものとされています。

今年もまたこの時期にあわせ、荘原小学校の子どもたちが集結。暑い中、練習に励んでいました。連日の暑さの中でも、子どもたちは元気いっぱい！盆踊りの合間の休憩には走り回ったり、ボール遊びをしてみたり。きっとご先祖様たちも、その様子を見て目を細めていたことでしょう。



「出雲神話祭り」参加



練習の成果を見て頂く最高の舞台で、羽根盆踊り愛好会の皆さんと一緒にステージイベントとして伝統の盆踊り「羽根の盆踊り」を披露しました。お揃いの法被とねじり鉢巻きがかっこ良かったです。出雲盆踊り練り歩きを1時間踊った後は、満足そうな達成感あふれる良い顔でした。

また、出演を予定していた「荘原夏まつり・花火の夕べ」は残念ながら台風10号直撃のため中止になりました。

みんながこれから大きくなってこの夏の頑張りがきっと心の支えになることと思います。



7/27
(土)

親子料理教室



出雲市出身のイタリア料理研究家、板倉布左子さんをお招きし、荘原小学校PTAの皆さんとともに「親子料理教室」を開催しました。板倉先生は、東京と島根のダブル拠点で、料理教室やケータリングを行い、各種メディアにも取り上げられている方で、料理を通じて地元出雲の食材の美味しさを発信していらっしゃいます。

メニューはイタリア料理の定番ラザニアと、ズッキーニのポタージュ、サラダ。親子で作業を分担しながら、楽しく調理しました。毎日一緒にいても、目の前の家事に追われていると、ゆったり親子一緒に料理を作る機会は意外と少ないもの。子どもたちの包丁を握る手つきは多少危なっかしいものの、嬉しそうに料理をする姿は、お父さんお母さんにとっては成長を感じさせるひとコマだったのではないのでしょうか。高学年の子どもは、小さい子どものサポートをしてあげたり、大人に鍋の煮え具合を教えてくれたりと、頼もしい一面も見せてくれました。



やがてラザニアが焼けてきて、あたりにいい匂いが立ち込めると、皆そわそわ。美味しいものの前では、大人も子どもも皆いい顔になります。子どもたちのラザニアを頬張った時の笑顔はひとときわがやに輝いていました。美味しいものを自分で作り上げられるって嬉しいことですね。

また、板倉先生には、化学調味料に頼らずとも、素材の美味しさを引き出すコツを伝授していただき、大人にとっても実り多き時間でした。味付けはシンプルながら、野菜の美味しさがぐんと際立ちます。板倉先生曰く、「素材の良さがあってこそ」。島根の食材がこんなにも美味しい料理になることに、地元民として何だか誇らしいような気持ちになりました。生産者の方が召し上がったなら、きっとずっと嬉しい気持ちになるのではないのでしょうか。

8/6
(火)

放課後こどもクッキング 坂本シェフに学ぶプロの味

毎年夏に坂本シェフに来ていただいています。とても親しみやすい方で子どもたちにも人気のシェフです。「今までに食べたことのない味で、とてもおいしかった!!」と絶賛でした。シェフの手さばきは見事なため息がでるほどでした。ホットケーキは小麦粉を使って焼いて、その上にアイスと桃のジャムを作ったのせました。食べるときはあまりの美味しさにみんな夢中で食べました。



放課後こども教室



7/30
(火)

クラフトテープで小物作り

クラフトテープは、エコクラフト、クラフトバンドなど他にも呼び名がありますが、再生紙を利用した紙テープのことです。紙製ではあるものの、意外と丈夫で、かごやバッグの素材などとしても使われています。

今回は、講師に山口京子さんをお招きし、クラフトテープでペン立てを作りました。好きな色のクラフトテープを選び、かごを編んでいき、最後に飾り付けをして完成です。作り始めると、皆夢中に。色とりどり、個性豊かなペン立てが出来上がりました。皆さんに感想を聞いてみると、「難しそうに見えたけど意外と綺麗に出来てよかった」などの完成品に満足している内容が多く、楽しく取り組んでいたようです。



7/29
(月)

マジックショー

夏休みマジックショー「これがマジックだ!」と題し、不思議で楽しいマジックショーを開催しました。夏休み中ということもあり、幼稚園や小学校の子どもたちが、家族と一緒に参加してくれました。マジックが始まると、大人も子どもも身を乗り出し、目の前で繰り広げられる不思議な出来事に見入り、次々と歓声が上がっていました。時には、タネがちらっと見えてしまい、爆笑を誘う一面も。皆の笑顔溢れる楽しい時間となりました。



7/16

(火)

秋桜サロン

平成25年12月より開催している小地域サロンの紹介をします。代表の伊藤幸治さんをはじめ地域みなさんと毎月1回第2火曜日に「羽根東コスモス会館」で開催されています。羽根東自治会近辺の自治会の皆さん30名くらいで朝9時よりグラウンドゴルフで心と体をリフレッシュし、10時ごろから会館内でお茶を飲みながら講師の方を招いていろいろな話を聞きます。今回訪ねたときは、出雲市の澄田美和子さんの指導でゲームをしておられました。ゲームといえども真剣に取り組みながら笑ったり、残念がったりで楽しいひとときを過ごしておられました。地域の繋がりをとても心強く感じる地域のサロンです。皆様の地域でもサロンの立ち上げを希望されるところがありましたら荘原コミセンにご相談ください。災害に強い地域は隣近所の繋がりが密な地域です!!



7/17

(水)

歯科衛生士さんの～こどものための～ おくちの健康についてのお話

8組の生後4か月から2歳のお子さんとお母さん、おばあちゃんに参加していただきました。まずお子さんの歯磨きの様子をお母さんにお話していただいて、歯科衛生士の玉木恭子さんからそれぞれにアドバイスを受けました。4か月のまだ歯の生えていない時からお口の周りを手でさわったり、マッサージをすると、歯磨きがスムーズにできることや歯ブラシの使い方等を教わりました。また、お母さんからも熱心に質問をされていました。なかなかこんな機会がないので今後ぜひ行って欲しいとのご希望もありました。なにより参加されたお母さん同士の会話が、お母さんを安心させたのではないかと思います。



7/26

(金)

ご案内



体と心の活性化教室

出雲市役所医療介護連携課
NPO法人生活習慣病予防研究センター

専門スタッフによる脳トレや運動で、楽しく認知症を予防しませんか。

8月30日から12月26日まで、毎週金曜日10時～11時30分開催されます。

いつまでも元気で暮らしたいものです。

8/26
(月)

バラの夏剪定講習会

日差しの強い日でしたが13人でコミセン玄関前のバラ54本の剪定を行いました。たくさん花と香りを楽しませてくれたバラに感謝しながら、10月の文化祭に咲くようにと心を込めて剪定しました。

地域内外の方から「たくさんのバラに癒される」「香りがいいね」「きれいなバラの花がずっと咲きますね」等のお言葉をいただきます。強い風にも雨にも負けないバラです。これからもずっと私たちを楽しませてくれるようこれからも大切に育てていきたいと思ひます。皆さんも一緒にいかかですか。



7/22
(月)

青パト・見守り隊 交通安全指導講習会 の開催

荘原地区青少年育成協議会



斐川交番の曾田 隆所長を講師にお迎えし、荘原小学校の終業式の日に合わせて、青パト・見守り隊を対象とした交通安全指導講習会を開催しました。

講習会で斐川・出雲市で発生した交通事故や声かけ・つきまといなどの事案についてお話しいただきました。そして、児童・生徒は登下校中に事故や事件に巻き込まれることが多く、登下校の安全確保の重要性が高まっており、見守り・青パト隊の活動はとても重要な任務であるということでした。

青パト・見守り隊の皆さんは、講習会終了後、荘原小学校児童の下校時間に合わせて荘原地内の見回り活動をしました。



8/22
(木)

避難訓練

荘原コミュニティセンターの避難訓練を実施しました。

当日はコミセン利用者の皆さんにも参加していただき、本番さながらに行うことができました。

避難訓練のあとは、消火器の使い方の実習をしました。慌てるとやってしまう間違っただち方、初期消火の仕方、消火器で消える炎の高さなど、消火器の的確な使い方をすることの大切さを学びました。

このような非常時があつてはいけませんが、もしもの時には避難の誘導の仕方と的確な判断をすることの大切さを思い出し、冷静に判断し、なおかつ迅速に行動できるように心がけたいと思ひます。



新成人を祝う会について(開催日: 1月成人の日前日)

今年度で第3回となるこの会は莊原地区と出東地区(斐川東中学校卒業生)で成人式を迎える皆さんを“翔け新成人!! 地域は君たちの応援団”をスローガンにお祝いの会を行っています。

莊原、出東コミセン主催で両地域の方たちとともに新成人と当時の小学校、中学校の恩師と交流をします。地域とともに若人が育っていく姿を見守り次世代につなげていきたいです。



新成人の皆さんには、地域や人との繋がりを大切に故郷に想いを寄せていただくと嬉しく思います。

開催場所は莊原または出東コミュニティセンターです。今年度は出東コミュニティセンターで行います。

リサイクルステーションの利用について

出雲市環境保全連合会莊原支部

最近、莊原コミュニティセンター駐車場内にあるリサイクルステーションの利用上のルール違反が増えています。

回収対象外の物を出す、回収日・回収時間以外にリサイクルステーションの前に置いて帰る、他の人が持ち込まれた物を持ち出す…などの行為は、ルール違反です! ルールを守って気持ちよく利用しましょう。



実際にあったルール違反

- ×ビニール袋に入れられた大量のビールの空き缶が、リサイクルステーションとは全く違う場所に捨てられていた。
- ×リサイクルステーションが閉まった後で、リサイクルステーションの前にビニール袋に入れられた衣類、新聞紙、雑誌、雑誌が置かれていた。
- ×リサイクルステーションの中に回収対象外の物(ペットボトル、乾電池、ポット)が置かれていた。

リサイクルステーション 閉鎖のお知らせ

10月19日(土)・20日(日)は莊原地区文化祭開催のため、リサイクルステーションを閉鎖します。

莊原コミュニティセンター

使用料改定のお知らせ(10月1日より)

消費税率引き上げに伴い、莊原コミュニティセンターの施設使用料金が、令和元年10月1日利用分より、一部が改定(値上げ)されます。

	改定前	改定後
集 会 室	2,500円(冷暖房料750円)	2,540円(冷暖房料762円)
会 議 室	500円(冷暖房料150円)	変更なし
研 修 室	500円(冷暖房料150円)	変更なし
実 習 室	500円(冷暖房料150円)	変更なし
おいでませ館	800円(冷暖房料240円)	810円(冷暖房料243円)

サークル・教室・自治会の利用については引き続き無料にてご利用いただけます。

莊原コミュニティセンター 電話 72-4600

ご寄付御礼

香典返し 金一封

小松原達夫様(和泉町自治会)

福岡義春様(新田下自治会)

高橋義明様(中瀬自治会)

宇賀直人様(協和自治会)

高橋昇様(八雲南自治会)

皆様からお寄せいただきましたお志は、莊原地区社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。